理研会報

発行
印教研 理科研究部
事務局
成田市幸町948の1
成田小学校内

歴史と伝統を誇る理科研究部の発展を願って

研究部長　藤崎正雄

本年度、はからずも皆様の推薦により歴史と伝統を誇る理科研究部の重責を担うことになり、その責任を痛感いたしております。

活動を進めるに当り歴代部長であられる牧野正先生、岡崎賢一先生、板橋義夫先生、飯田和幸先生の絶大なるご指導をお願い申し上げるとともに研究部員一五〇余名の方々のご協力を切にお願いいたします。

本年度の諸活動については既に決定されておりますが、それらについて私なりの考えを述べさせていただきますと、

第一の理科作品展ですが、印旛地区全体からみると層がやゝ薄い感じがいたします。部会の段階で各校の各学級から一点程の出品ができるよう要望いたします。

教育目標などはよく創造性とか創意工夫とか叫ばれていますが、作品に是非反映できますことを期待しております。

第二の教研推進では各部会単位の研究員によって高度の研究がなされ、それが積みあげられている気がいたします。

しかし、この立派な研究が単なる研究に終るのではなく現場の子どもがこれによってどう高められたか、これがどう定着したかが最も問題ではないだろうか、会員も教研集会に参加し得たものを日常の授業実践に結びつけることを熱望いたします。

第三の理研会報ですが、成田市教委の中村鈦武課長のお骨折りをいただき感謝に耐えません。僅少予算で今日まで七十八号を数えております。事務局では本年度、創当て制にし各部会から広く原稿を募集する計画が示されておりますので更に内容が充実されるものと期待されます。

次に本年度より二か年継続で成田小学校が印教連指定の理科研究学校に指定されました。十一月二十一日中間発表会が予定されておりますが、多数の先生方の参加を希望いたします。

地方理科教育センターの研修関係は、成田中、四街道小および協力員のご協力により本年度は立派な成果の中に終了いたしました。

千教研、理科教育部会では一年後に行なわれる関東甲信越地区理科教育研究会千葉大会の準備を進めておりますが、本研究部からも多くの役員を出さなければならない状態ですのでよろしくご協力くださるようお願い申し上げます。

アンモナイトを求めて

成田中　長谷部俊江

同好会設立以来の念願であった北海道への地学巡検が、今年実現され、私は、遅よく三年目で参加させてもらうことになった。生徒に本物を見せたい、という願いではじまった地学巡検だそうで、私自身最がなかったので、まったく胸のおどる計画であった。

北海道の北部を流れる天塩川、その上流、天塩中川、佐久、共和付近は、白亜紀の地層で、アンモナイトの宝庫として知られている。文献によると、クマが出没するので単独行動はさけなければならないということであった。目ざす場所は、天塩川、安平志内川にそそぐ多くの沢のうちの学校の沢、安平志内川の支流ワッカウエンベツ川にそそぐ化石の沢である。

八月十六日、化石の沢を目ざすことになった。しかし、共和という部落は、無人になっており、道路も通行不能ということで、予定の変更を余儀なくされた。板屋という最後の部落で道を聞いたところ、ちょうど、お盆で仕事を休んでいた古田さんという方が道案内をしてくださることになり、一同安心してでかけたが、たいへんな山道で、背たけ程ある笹やぶを、かきわけながら山越をし、一時間あまり歩いた。満足な道がなく、前の人に必死でついていかなければならなかったので、川の音がきこえたときはほっとした。

ワッカウエンベツ川である。川に降り、さっそくハンマーを打ちつける。アンモナイトは、ノジュールと呼ばれるかたまりの中に入っているが、最初はノジュールなるものをさがすのが一苦労であった。膝まで水につかり、上流に向って進んだ。川原にハンマーの音が響き「あった」という声に急いで近よると、確かにアンモナイトである。異常巻きのものが目についたが、ハンマーでたたくと形がくずれてしまい、うまく採集できなかった。化石の沢は、本流の右側にあり、雨が降り、ノジュールが流されるのを待って地元の人が入るそうで、すでに割られたノジュールが多かった。昼食後は、安心したのか、皆、思い思いにハンマーをふるい相当の収穫があったようだ。私も、なんとか採集でき、満足できるものは五個ぐらい。その他イノセラムスなどを採集した。採集したアンモナイトは、大きなものでは直径七糎くらいのものがあり、大ざっぱにわけると、七種類にわけられるようである。陽が高いうちに引き上げることになったが、去りがたく、ようやく暗くなってもどると、さすがに皆の顔がほころんでいた。勇戦苦闘の結果、ズボンはドロドロ、靴は歩くたびに音がした。コロボックルが出てきそうなフキの葉をもち、満足して記念写真におさまった。

生徒に、自分で採集したものを見せ、体験した事を話すのは気持ちがひいものである。生徒にもこのような採集の喜びを味あわせてやることができたらすばらしいと思う。有意義な地学巡検であった。

最後に、この採集会にお骨折りいただいた先生方に感謝します。

環境づくり (1)

各学校の教材園も花の終わりをつげ、次年度の準備にかかっていることでしょう。

小学校の教科書の中から春に必要な植物名をひろってみると、

三色すみれ・水仙・チューリップ・アネモネ（一年）そら豆（二年）シアラナ・えんどう・ヒヤシンス・クロッカス（三年）

などがあげられます。

今やっておかなければならないものばかりです。種まきはともあれ、秋に株分けしておいた方がいいものについて記してみたいと思います。

春咲きの宿根草類（シャクヤク、宿根ナデシコ、桜草類）などは春に行なってもよいのですが花芽をつぶす危険性がありますので今が一番よい時期といえます。また、春に株分けしたものより、根ばりもよく、株分けしたものより、根ばりもよく、早く芽つ利点をもっています。

くわしくは、昭和四十四年研究部発刊の「植物栽培のまびき」を参照してみてはいかがですか。

なにはともあれ、次年度の教材だけは花だんに咲かせておくことをたれないでほしいものです。

郡理科作品展

10月25日から

郡理科作品展は十月二十五日から成田小学校を会場にひらきます。

各部会展より推薦された作品が展示されますが、郡展で金賞を得た作品は県展に出品します。

ただし、標本関係は自然保護の立場から郡展とまりとなりますのでご了承ください。

研究学校公開

印教連、成田市教委の指定をうけて研究にとりくんでいる成田小学校では「ひとりあるきできる理科指導」をめざして実践していますが、その中間発表を、十一月二十一日に行ないます。多数の参加をお願いいたします。

人事異動

○三里塚小　石井望先生（理事）が九月一日付で県教育庁文化課文化財管理係主任主事に転出。

○草深小教頭　川勝丸重先生（幹事）が十月一日付で四街道小学校教諭に転出。

両先生のご健斗を祈ります。